

山岳部 高体連全道大会 テント場水没事件の巻。

(6月20日(火) -23日(金) 加尻プリ〜室蘭岳縦走、男子来馬岳、女子加尻山)

本年度の登山全道大会は、20日标榜登別万世閣で開会式、ハッパ-テスト、天気図審査を実施。21日は加尻プリ〜室蘭岳縦走、タツノキャンプ場に移動し幕営審査・炊事審査。22日来馬岳・加尻山を登り、下山後入浴・交流会。23日閉会式・表彰式という予定でした。2日目の山行は雲の中を歩きましたが、予定通り終了。大ハッパ-は2日目の夜。稀に見る土砂降りの餌食となったテント場は水没するテントもあり、選手は全員屋内体育館へ避難。体育館に寝袋を広げ宿泊する運命。3日目は5時出発予定が8時半出発となり、結局男子は来馬岳、女子は時間切れで手前の加尻山までとコースを大幅に短縮しての実施となりました。今年は男女とも1年生を含むMハ-構成で上位入賞とはなりませんでしたが、リヤすることなく完歩することができました。何故か山行のない1日目と4日目が快晴。雨に弄ばれた大会でしたが、部員はまた1つ経験を積むことができました。



ハッパ-テスト前にお勉強



出発前に装備点検を実施



室蘭岳山頂でまだまだ元気な女子チーム



これでは寝られません 水没したテント場



急遽体育館での寝泊まり



3日目は雨の中の山行



大会最後に記念写真